

宮城県立光明支援学校

支援部だより 居住地校学習 特集号

<第7号>

平成29年

2月21日

(文責：佐藤ひろみ)



居住地校学習に参加してくださったお子さんについて、その保護者の皆様に感想を書きいただきました。お読みいただいて、今年度は参加を控えた小・中学部の皆さんも、「次年度やってみようかなあ…」と書いていただければと思います。

仙台市立錦ヶ丘小学校へ

小学部2年 渡辺行人さん

居住地校学習に2年生から参加することに決めたものの、普段と違う登校時間等にパニックを起こしたらどうしようなどと、ぎりぎりまでドキドキしていました。が、事前学習のおかげもありスムーズに登校、いや、どちらかというと、とても喜んで意気揚々と登校し、玄関先で担任の先生を見つると母に「バイバイ」と手を振って教室に向かいました。

教室で席に座って落ち着いて過ごせる姿に、日頃の先生方の御指導に改めて感謝しました。2回目の学習の時には担任の先生との信頼関係の深まりが良く伝わってきました。

交流先のお友達から行人が好きなお魚をつけたお面や似顔絵を描いたメダルなどプレゼントに頂き本人は無反応でしたが、帰り際自らすべてのプレゼントを身につけて(苦手なことなのに)、みんなとさよならした姿を見て、ちゃんと人の優しさを理解し、また不器用ながらも表現できる姿に感動しました。また行人の世界が大きく広がりを見せました。



仙台市立長命ヶ丘小学校へ

小学部3年 岩淵由哲さん

小学部3年生で初めて居住地校学習への参加となりました。地域の子供たちと関わることができる良い機会だと思い、私自身入学時から考えていました。受入校の校長先生からは1年生の時から声を掛けていただきましたが、実際息子がいつもと違う環境で初めて顔を会わせるお友達と同じ時間を過ごすということのハードルの高さに決めかねていました。不安もありましたが光明での学校生活にも慣れ、チャレンジしてみようかと思いました。

「丘のしまつり」という学校行事と音楽の授業に参加し、両日共私は付き添わず担任の先生にお願いしました。いつもと違う学校に入れるのか心配でしたが元気に入ってきました。帰りはニコニコ顔で先生方に挨拶をしていました。友達とも楽しく過ごせたようでとてもうれしそうでした。受入校の担任の先生からは「子供たちも楽しみにしていますので来年も来てくださいね」と言っていました。是非とも次年度も希望したいと思います。



仙台市立人来田小学校へ

小学部3年 杉山翔栄さん

翔栄は毎年居住地校学習をお願いしており、今年で3回目になります。今回は2週間のうちに2回と短い間隔での学習でした。好きなお弁当を色紙で作るという授業でラーメンを作りましたが、他の生徒さんが自分の課題の他に、翔栄のラーメンの具もたくさん作って持ってきてくれて、翔栄のラーメンは1枚の紙ではおさまらなくなるほどの大作となりました。2回目は作品発表となり、翔栄は不安定で大きな声を出したり泣いてしまったりしてしまいましたが、人来田小の先生も生徒さんも温かく見守って最後には歌のプレゼントもいただきました。毎年先生も生徒さんも本当に温かく受け入れてくださっていて本当にありがたいです。翔栄の成長と同じ年のお子さんの成長が見られることは私自身も先の見通しを立てる良い機会です。翔栄のことを知ってもらって受け入れてもらえるいい体験にもなっているので、これからも続けていきたいと思っています。



出会い ふれあい 認め合い



仙台市立愛子小学校へ

小学部 3年 鳥越大智さん

毎年参加している居住地校学習も3回目になりました。今回も先生方の温かいご支援をいただき楽しい思い出を作ることができました。愛子小では「ほしぞらまつり」の日に参加ができ、私も大智も、そして今年から入学している妹も大喜びでした。

当日の大智の様子を見ることはなかったのですが、妹が大智の姿を見つけて、一緒に見て回っていたそうです。大智の顔は、もうたくさんの笑顔でいっぱいだったそうです。

家ではいつもケンカしている兄妹ですが、私がいなくときには妹がお兄ちゃんの面倒を見てくれてうれしい気持ちになりました。

今後大智の気持ちと向き合いながら交流の機会を持ちたいと思います。

先生方のご協力もいただき良い経験をさせてもらい感謝の気持ちです。ありがとうございました。



仙台市立荒巻小学校へ

小学部 4年 坪井龍之介さん

今回の居住地校学習は、私は送迎のみだったので、その時の様子はよく分からないのですが、先生のお話では、今回もとても充実した時間を送れたようです。やはり初めは緊張していたようですが、次第に慣れ、笑顔でお友達と接することができたようです。

交流は2年生の時からずっと行っているのですが、みんなも覚えてくれたようで、とても嬉しく思います。同じ地域に龍之介がいることを知ってもらい、少しでも理解を持っていてくれたら、行ったかいがあると思います。どこかで車椅子の人を見かけたら、龍之介と同じだな、とか、そういう小さな事の積み重ねがいずれ、健常者と障害者の垣根を少しずつでもくずしていけることにつながるのかな、と思います。私も自分にできることを、小さいことでもいいから続けていきたいと思っています。何度も打ち合わせなどを行っていただいた先生方、こころよく引き受けてくださる学校に、心から感謝しています。ありがとうございました。



仙台市立南中山小学校へ

小学部 4年 早川想真さん

想真が居住地校学習に参加するようになって2年目になります。今年度もまずは照れくさそうに両手で目を隠して昇降口に足を踏み出すのが精一杯のところからのスタートでした。昨年度に引き続き、支援学級のお友達に出迎えてもらってニコニコしながらも緊張の始まりでした。しかし教室へ入ってしまえば終始笑顔。お友達や先生にも名前を覚えてもらえて、昨年度よりもなじめるまでが早くなったようです。自分の住む地域の学校へ足を運ぶ機会がなかったため、この居住地校学習をきっかけに行くことができ大変ありがたく思っております。息子自身も自分の家の近くの学校、弟がいる学校、そしてご近所のお友達、放課後デイで一緒のお友達がいる学校なんだと認識できています。その地域になじめるよう本人への意識付けとしてもとても大事な学習になっているなあと思っています。今年度は残すところあと一回となりました。是非次年度も希望させていただこうと思っています。



仙台市立川前小学校へ

小学部 5年 清野智博さん

今年度は一回だけの居住地校学習でした。(風邪をひいて行けず)

10月に支援学級での学習発表会の練習を私も一緒に見学しました。劇と音楽でした。智博の大好きな音楽演奏で、支援学級の友達がやらないことになり、川前小の先生から「智博やる?」と聞かれて、やる気満々で担任の先生と一緒にステージに上がり、ベルのやり方の説明を受け、ミュージアの夢で習っているので得意で「きらきらぼし」、ドの担当になりリズムをとりながら上手にできていました。

急にやることになったのにできるなんてとても感動しました。その後は支援学級の子供たちとゲームをしたりしました。短い時間でしたが、いろんなことをさせていただき、ありがとうございました。来年度も参加したいと思っていますのでよろしくお願いします。



☆今年度御協力いただいた学校

仙台市立小学校：錦ヶ丘・泉ヶ丘・長命ヶ丘・愛子・人來田・荒巻・栗生・南中山・高森東
住吉台・生出・川前・木町通・将監・上野山
仙台市立中学校：三条・北仙台・高森・広瀬・七北田

合計20校

仙台市立長命ヶ丘小学校へ

小学部6年 大山慧悟さん

長命ヶ丘小学校にて6年間受け入れていただきました。親が居住地校に望むこと、慧悟ができること、居住地校での受け入れ態勢とのすりあわせ等で先生方にはご負担をおかけしました。しかし第一の目標である地域の子供たちに知ってもらおうという程度かなったように思います。我が家は通学路に面しているため、下校時等に「あっ慧悟君だ」と言ってもらえることが増えました。また夏祭りの時等にも声を掛けてもらえるようになりました。ただそれだけのことですが、奇異な目で見られることなく地域で生活できるのはうれしいことです。



今年も中学生です。長命ヶ丘は一つの小学校と中学校なので、顔ぶれはほとんど変わりません。受け入れていただけるのかは分かりませんが、成長した生徒たちの中で慧悟も何かしら感じ取って彼なりに成長してもらいたいと思います。健常の児童をみて正直つらいと思うこともありますが、それでも我が子のためには必要な事業であると考えています。

仙台市立高森東小学校へ

小学部6年 齋藤真瑠さん

真瑠は小学部2年生から5年間、高森東小学校でお友達との時間を楽しみ、学ばせていただきました。6年生最後の交流学习となりましたが、ドキドキし泣いてしまいがちな時も、一緒にやろう、一緒にやりたい、というお友達や真瑠の気持ちに笑顔となり、活動に参加することができました。



今年「さすが6年生の真瑠くんだね!!」と先生方から褒められるほど立派な姿でした。

毎回どんな活動だと参加できるか、先生方で相談し、準備してくださったことに大変感謝申し上げます。交流で過ごさせていただいた時間が、来年からの中学校生活において真瑠の力になることでしょう。

いつも笑顔で迎えてくださった高森東小学校の先生方、お友達、本当にありがとうございました。担任の先生、真瑠に楽しい時間を作ってくださいありがとうございました。

仙台市立上野山小学校へ

小学部6年 齋藤勇太さん

居住地校学習の日、居住地校の駐車場で担任の半澤先生と待ち合わせして、先生の姿を見つけると、少し不思議そうな顔をしていた勇太でした。待合室では特に緊張している様子もなく黒板にいたずら書きをして待っていました。その日は縦割りロング時間で地区ごとに集まり七夕の折り紙製作でした。初めに小学校の先生より紹介され、次に代表の生徒さんが歓迎の挨拶をしてくれ、耳の聞こえない勇太ですが何となく何かを感じていたようです。その後グループに分かれリーダーの6年生を中心に折り始め、半澤先生もそばについてお手伝いしてくれて、上手ではないけれど何とか仕上げました。終わりの会では、夏の上小祭りに来てくださいと手作りの招待状をもらい、親子共に感激でした。



今回初めての参加でしたが、地域に障害をもった勇太の存在を一部の生徒さん方ですが知ってもらえたのが大きな収穫だったと思いました。

仙台市立木町通小学校へ

小学部6年 熊谷南那さん

昨年11月、南那の小学校最後の居住地校学習が終わりました。振り返ってみると、最初はとても心配でした。もしも「あなた、明日は違う学校で勉強ですよ」と言われたら、大人の私だってドキドキです。泣いたりしないかな、緊張で固まってしまうんじゃないかなと不安な気持ちでいました。ですが行ってみると、生徒の皆さんが明るく出迎えて車椅子を押してくれたり、ランドセルを持ってくれるなど手伝ってくれたり、お手紙をくれたり、帰りにはアーチを作って送ってくれて、皆さんと先生方が、ドキドキを、ウキウキ！ワクワク！に変えてくださいました。また毎日会っている担任の先生方が一緒にいてくださったこともどんなに心強かったことでしょう。ホッとうれしくなった2年生の頃を思い出しました。今ではすっかり慣れ、毎回南那の表情で心から楽しんで充実した一日を過ごしてきたことが分かり、感謝の気持ちでいっぱいです。すてきな思い出もたくさんできました。木町通小学校の皆さん、どうもありがとうございました。



☆参加者 小学部19名 中学部6名 合計25名

☆回数 それぞれ1～3日(全体で延べ56日実施)

☆活動内容 通常学級での学習、特別支援学級での学習、全校や学年の集会、給食等への参加

仙台市立三条中学校へ

中学部 1年 松田つぐみさん

中学生への進級と共に、光明支援学校へ通うことにしたつぐみ。これまでは支援学級に在籍しながら通常学級の行事に参加してきました。将来を見据え、ここ光明でしか学べないことがある一方、健常の皆さんとの中でしか学べないこともあるだろうとの思いから、居住地校学習への参加を決めました。

今年度は、まずは三条中支援学校への参加ということで、ALTの先生を迎えての英語の授業や、先生方へのかき氷の販売をしたりと、楽しい体験をしてきました。一度、支援学級の先輩と一緒に通常学級の技術の授業に参加し、ペーパーロープの小物入れを編んだりもしました。

参加3回目には「最初からジャージで行きます!」と、着替えの時間も惜しいほど、この参加を楽しみにするようになってきました。

毎回引率していただいた担任の先生、そして大変温かく迎えてくださった三条中の先生、生徒の皆様に感謝申し上げます、また来年度も是非参加させていただきたいと思っております。



仙台市立七北田中学校へ

中学部 2年 千葉義秀さん

今年度はぜひ義秀に「地域の中学校の普通の日」を体験してもらいたい!と思ひまして、3回とも朝からほぼ一日参加させていただきました。それは昨年参加させていただいた時の義秀の姿を見て、このクラスの皆さんの中でなら、きっと一緒に楽しくやっていたらと思うからです。お友達に会える嬉しさで、毎回当たり前のよう歩いて学校に向かいました。先生から積極的に授業に参加していたというお話を聞き、続けて参加しているからこそその自信と成長の表れなのだと感じました。普段聞くことのない学校のチャイムを聞くことも、光明とは違う授業の内容も、お友達と給食を食べることも、すべてが貴重な経験で、たくさん吸収することがあったと思います。毎回温かく迎え入れてくださったアイリス学級の皆さん、楽しく充実した一日をありがとうございました。受け入れ体制を整えてくださった両校の先生方、今年度も大変お世話になりました。そして来年度も行く気満々の義秀をどうぞよろしくお願ひいたします。



仙台市立高森中学校へ

中学部 2年 齊藤 萌さん

今年度、とても楽しく過ごさせていただきました。

萌は特にカップケーキを作ってクリスマス会をしたことが思い出に残っているようです。ワイワイ皆さんとカップケーキを焼き、デコレーションをしてジュースで乾杯!自分で用意してきた歌を披露して、自信もついて...

帰りに私がお迎えに行くと「あー楽しかった!あのね...」とたくさん笑顔で話してくれるのを見ると、私までうれしくなります。

交流先の先生方、中学生の皆さん、本校の担任の先生方、たくさんのご尽力に感謝しております。

また来年度もよろしくお願ひいたします。



仙台市立北仙台中学校へ

中学部 3年 高澤空真さん

居住地校学習も今年度で3年目になりました。今年度で最後となりましたが、調理実習や美術の授業、支援学級の活動に参加させていただき、いつも楽しみにしている様子が見られました。

年2回ではありますが、小学校で一緒だった皆さんに会えて声を掛けていただいたり、いつもと違った環境での時間は、本人にとって大変良い経験となり刺激を受けた時間を過ごせたと思います。落ち着いて参加できるようご配慮くださいました北仙台中学校の先生方と皆さん、お忙しいところご準備くださり心よりお礼申し上げます。

たくさんの方々に関わる、知っていたくという意味で、居住地校学習は良い経験と機会になると改めて感じました。どうもありがとうございました。



平成28年度居住地校学習を振り返って

受け入れ校の先生方や児童生徒の皆さん、本校の保護者の方々など、たくさんの人々の温かいつながりで、お互いに実りの多い時を過ごすことができたことを、感想文からも感じさせられました。

本校の児童生徒が参加できるように、様々な工夫や御配慮をくださった、受け入れ校の皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。そして、来年もどうぞよろしくお願ひいたします。

